

WARABI FIRE DEPARTMENT

TSUKAGOSHI BRANCH OFFICE

蕨市消防署塚越分署



～蕨の伝統織物「双子織」をモチーフにした外観～

市長挨拶



蕨市長

頼高 英雄

蕨市は、市域が日本一小さく、人口密度も日本一、成人式発祥の地としても知られ、歴史や文化、コミュニティが豊かで、利便性も高く、人口減少社会にあって今もお人口は微増傾向にあります。住み心地の良い住宅都市としても発展し続けている蕨市ですが、安全安心のまちづくりを進めるうえで、消防救急体制の充実はとりわけ重要であり、都市直下地震への懸念も高まる中、災害対応の拠点となる消防署はその要をなすものです。

蕨市では、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンのもと、「防災都市・蕨」の実現に向け、公共施設の耐震化や消防力の強化などの取り組みを進めていますが、南町・塚越地区を管轄する塚越分署は、昭和56年の建築基準法改正前に建築されており、耐震化を進める必要があったことから、この度の建替えにより、消防行政を取り巻く環境の変化にも対応した新たな消防庁舎として完成させることができました。建替えにあたり、地元塚越を所管する消防団第一分団や地元町会、周囲住民の皆さんをはじめ、多くの方々のご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

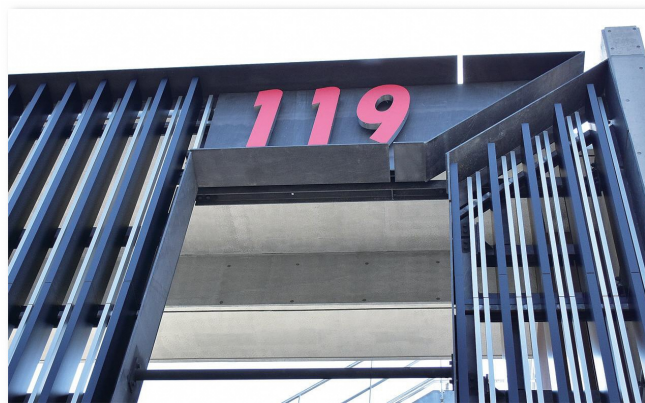
塚越分署は防災拠点として、大規模災害の際にも機能を維持できる耐震性や非常用自家発電設備を有することはもちろん、大規模化・多様化する災害に対し迅速で的確に対応できる職員動線の確保を重視するとともに、LED照明などの省エネ機器を採用し、環境に配慮した施設となっております。

これからも、消防本部と新たな塚越分署を市の防災拠点として、蕨市民の生命並びに財産を守り、安全で安心な暮らしを支えるために、消防救急体制の更なる強化に取り組んでまいります。

施設の特徴

◎概要

構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階層	地上3階
高さ	最高 9.965m
面積	敷地 392.22 m ²
	建築 235.24 m ²
	延べ 580.06 m ²
	(1階) 233.26 m ²
	(2階) 177.96 m ²
	(3階) 168.84 m ²



◀屋上視認標示

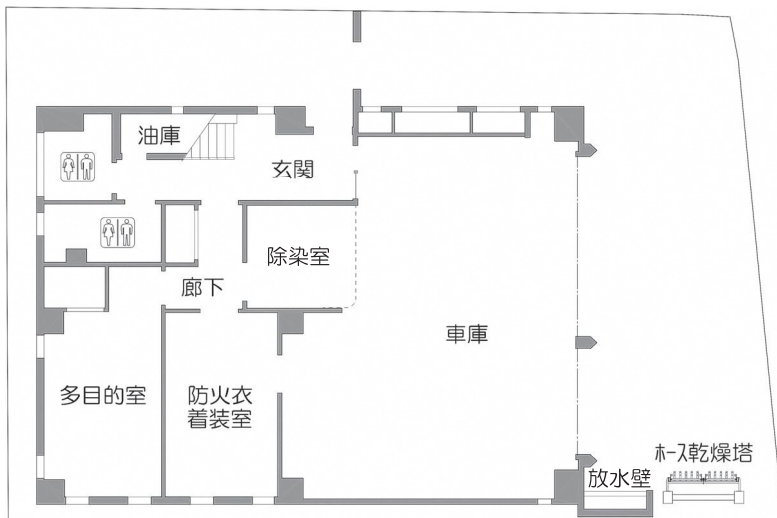


放水壁▶

◎主な特徴

- ・防災拠点として十分な耐震性能を有します。
- ・限られた敷地面積を効率的に活用し、各種訓練が可能な建物です。
- ・LED照明や人感センサー付き照明、採光窓を設置するなど、省エネ機器を採用し、環境に配慮した施設です。
- ・その他、新たに設けた施設等
(非常用自家発電設備、防火水槽 (40 m³)、放水壁、多機能トイレ、ホース乾燥塔、除染室、女性職員対応施設、油類貯蔵施設、屋上視認標示など)

1 階平面図



▲防火衣装着室

エントランス▶

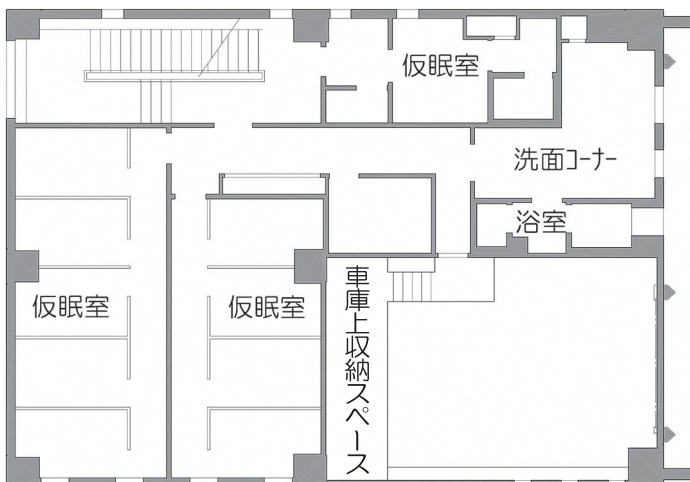


除染室



多機能トイレ

2 階平面図



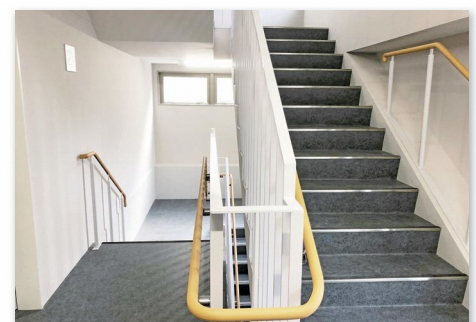
車庫上収納スペース



仮眠室

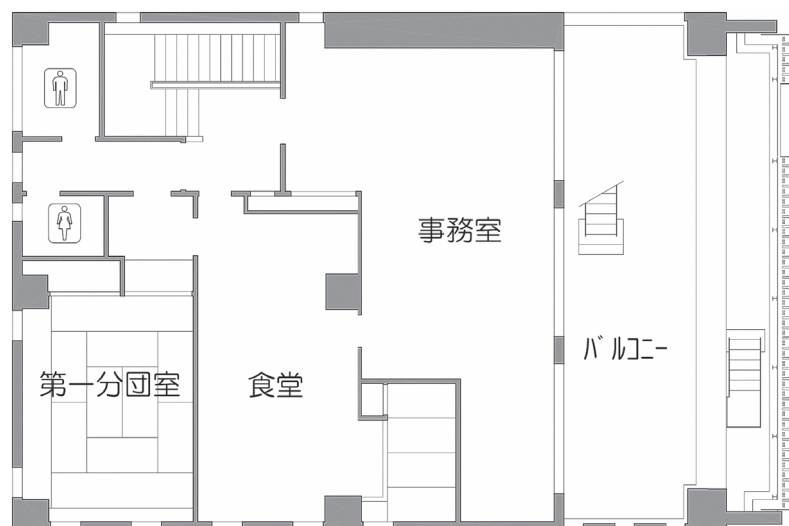


洗面コーナー



階 段

3 階平面図



事務室



分団室



食 堂



バルコニー

建設地



< 案内図 >

蕨市消防署塚越分署

蕨市塚越 4-1-6

TEL 048-442-2111

FAX 048-442-2101